

静岡市青少年育成だより

令和7年度 第3号

みらい

こども若者応援課 〒420-8602 静岡市葵区追手町 5-1

☎:221-1474 / ㊄:221-9293 / E-mail:wakamono@city.shizuoka.lg.jp

<http://www.city.shizuoka.jp/kyoiku/s002344.html>

「わたしの主張 2025」静岡市公開審査会



市内中学生565名の応募作品から原稿審査を通過した9名が、7月28日(月)に、清水ふれあいホールで口頭発表審査会に臨みました。

参加した中学生は、それぞれの貴重な体験をもとに、社会情勢や自分の将来などに思いを巡らせ、自分の考えを堂々と主張しました。

清審査委員長からは、「言葉の強弱や身振り手振りを混ぜながら、聞き手に伝わる立派な発表でした。」という講評をいた

だきました。

参観者は発表者のご家族と学校関係者、静岡地域青少年健全育成連絡協議会の皆様、清水青少年育成推進員長会の皆様が中心でしたが、多くの市民の皆様に聴いていただきたい価値ある発表会でした。

<審査結果>

優秀賞	一杉 奈緒さん	脱マスクの時代で	豊田中学校3年
	芦沢 真央さん	中学生である今、私達に求められていること	服織中学校3年
優良賞	大澤 汐織さん	不登校について	大川小中学校8年
	鈴木 優萌さん	A I の進化と人間の強み	蒲原中学校3年
	寺林 桃花さん	「挑戦」から得られたもの	清水一中学校3年
	上岡 希衣奈さん	やりきるということ	清水南中等部3年
	深澤 萌さん	大切な日常	清水南中等部3年
	前島 扇さん	メディアをやめてできること	長田西中学校3年
	小松 さくら	人として	清水七中学校3年

優秀賞の一杉奈緒さんと芦沢真央さんは8月21日(木)に御前崎市民会館で行われる県大会に出場します。

7月 は「青少年の被害・非行防止強調月間」です

学校の夏休み中は、青少年の生活が不規則になりやすく、非行の兆しが出やすくなるほか、犯罪被害にあう危険性も高まります。

本年度もこども家庭庁主唱の下、7月を「青少年の被害・非行防止強調月間」とし、警察・学校・地域と連携して諸活動を集中して実施しました。

重点課題・主な取り組みは、下記の通りです。

<最重点課題>

インターネット利用におけるこどもの性被害等の防止

<重点課題>

- 有害環境への適切な対応
 - 不良行為及び初発型非行(犯罪)等の防止
 - 重大ないじめ・暴力行為等の問題行動及びその被害への対応
 - 薬物乱用対策の推進
 - 再非行(犯罪)の防止
- ◎ 「地域ふれあい・あいさつ運動」の推進(通年)

横断幕等の設置、街頭キャンペーン

静岡市役所静岡庁舎・清水庁舎・蒲原支所に横断幕等を設置しました。また、7月2日(水)に、JR静岡駅にて関係機関や城内中・東中の生徒の皆さんと協力して街頭キャンペーンを実施し、啓発リーフレット配布など、強調月間をPRしました。



<城内中・東中生徒によるPR活動の様子>

県内一斉夏季少年補導・立入調査

今年度の一斉夏季少年補導は、7月18日(金)に、静岡中央会場を中心に、各地域(葵区・駿河区)、各地区(清水区)で実施しました。静岡中央会場では、繁華街を中心に、青少年が集まりそうな商業施設や公園など5つのコースに分かれて巡回しました。

今回の補導活動に参加して下さった皆様、ご協力いただきありがとうございました。



<実施後の報告会の様子(静岡会場)>